

■科目名			
障害児保健学特別演習			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	専修専門科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
1	7期		前
■担当教員			
肥後 祥治			
■代表教員名及び連絡先等			
099-285-7767 higosho@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
木曜13時～14時			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
全8回の授業を対面形式で実施する。 卒論テーマに関連する内外の論文を読み、問題点を把握する。併せて、方法論に関する基礎知識を習得する。 さらに、演習形式で討論しながら、卒論の問題提起とその背景を理解する。 なお、今年度は、すべての対面形式で授業を予定しているが、状況によっては遠隔形式での実施も想定される。			
■授業の到達目標及びテーマ			
1. 卒論テーマに関する内外の論文を読み、問題点を把握する 2. 方法論に関する基礎知識を習得する 3. 演習形式で討論しながら、卒論の問題提起とその背景を理解する			
■授業計画			
本授業は、毎回対面形式で行う予定であるが、状況によっては、遠隔授業への変更も想定している。授業形態を変更する際は、予めmanabaのコースニュースや授業内において通知する。 1. 障害児保健学に関連する理論1：CBRとIBR 2. 障害児保健学に関連する理論2：組織論 3. 障害児保健学に関する臨床1：行動コンサルテーション 4. 障害児保健学に関する臨床2：グループワーク論 5. 障害児教育システム論1：日本の特別支援教育システム 6. 障害児教育システム論2：海外の特別支援教育システム 7. 障害児教育システム論3：教員の専門性の向上 8. 障害児教育システム論4：地域資源の活用			
■授業外学習（予習・復習）			
授業の各内容を理解するために必要な文献の購読を事前に目を通してから参加すること、また、割り当てのある部分については、プレゼンテーション用の資料の準備を事前に行うこと。			
■受講要件			
特別支援教育教員養成課程に限る			
■成績の評価基準			
授業内のプレゼンテーションとレポート提出によって総合的に評価する。			
■教科書・参考書			
各内容ごとに、随時授業中に指示を行う。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
3. 教育方法に関する理解 【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している 7. コミュニケーション力 【B連携協働力、自己改善力の育成】他者とのかかわりや適切なコミュニケーションの在り方について基本的な理解を深め、自らそれを実践することができる			

11. 特別支援教育に関する理解

【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており、それを生かした具体的な指導・支援の在り方を構想することができる

16. 情報収集力，分析力，活用力

【D構想力，展開力，評価力等】情報を収集し，整理・分析することを通して，その情報を活用していくことができる

アクティブ・ラーニング

ディベート；

プレゼンテーション；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング（授業回数）

8回中7回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

授業形態（対面・遠隔）については、コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。